

まちのアルバム

『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ教室』開催！

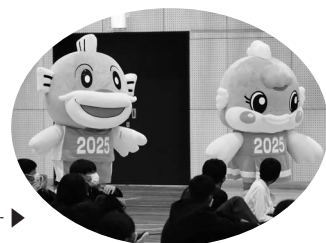
▼ 11月7日 野洲北中学校

令和7年に滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会のイメージソング「シャイン！！」の制作者で歌唱者の手話シンガーソングライター yokko さんによる講話と手話歌体験が開催されました。

突然声が出なくなった経験がある yokko さんは、その経験から「音楽は誰でも楽しむことができる」ことを生徒たちに伝えました。

生徒たちは、教わった手話を使って、大会のイメージソングを yokko さんと一緒に歌いました。

人権学習で共生社会の実現について学んできた山本陽月さん（1年生）は「大会を通じてみんなが楽しめることは良いことだと思う。」と話し、yokko さんの「障がいのあるなしに関わらず、すべての人が輝き、心の壁をなくしていこう」という思いを受け止めた様子でした。



両大会マスコットキャラクター
キャッフィー・チャッフィー

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(219)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

旗本齋藤家

野洲市内の古文書を読んでいると、よく目にするのが「齋藤」という武家の名前です。

江戸時代、齋藤家は旗本（将軍直属の家臣）で、野洲村、中畑村、山脇村、桜生村は村全体が齋藤家の知行地（領地）でした。紺屋町村の7割、小篠原村と市三宅村の半分以上も齋藤家の知行地でした。

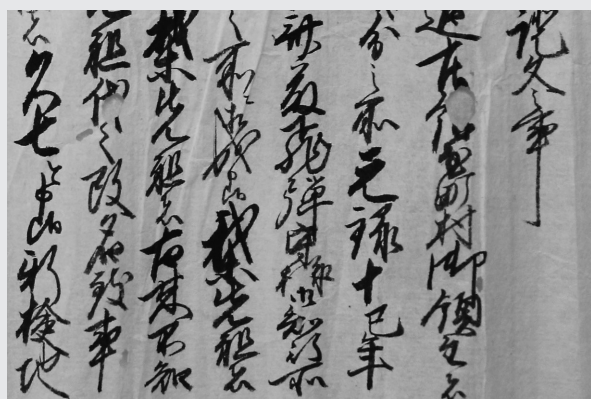
この齋藤家は齋藤利三という武将が先祖で、利三は明智光秀に仕えていました。しかし、光秀が天正10（1582）年に「本能寺の変」を起こし、光秀の軍勢が山崎の戦いで敗れると、利三も捕らえられ、齋藤家の一族は散り散りになります。

ところが、利三の娘のお福が、江戸幕府の三代将軍徳川家光の乳母になると（のちに春日局と称する）、齋藤家の一族は大出世します。利三の息子の三存は旗本にとりたてられ、2000石を与えられます。齋藤家はその後もたびたび領地を与えられ、三存から4代目の三政のとき、

野洲郡、栗太郡、蒲生郡に合わせて6000石の領地を持つ、大きな旗本になりました。

齋藤家はそれらのうち現在の野洲市に約3900石の知行地を持っていましたが、これは野洲市全体の石高（米の生産量）の約11%を占めていたのです。

（市史専門調査員 川原 吉貴）



『白井家資料』（当館蔵）より

4行目に「齋藤飛騨守様御知行所」とあり、紺屋町村（野洲市上屋）が齋藤家の領地であったことを記している。

※市民は入館無料

（運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。）

※12月の休館日：月曜日、28日（水）～31日（土）

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。